



414
A 986



伏シテ惟ミルニ我邦ノ現況金銀貨幣漸ク騰昂紙幣
ノ價位随テ低落シ物價之カ為ニ騰貴シ政府ニ在テ
ハ限リアルノ歳入ヲ以テ價格増加スルノ用度ヲ辨
シ其勢殆ント支フヘカウガルニ至ラントシ民間ニ
在テハ貨泉ノ流通壅塞シ生理甚衰頓セリ上下理財
ノ困難ナル實ニ今日ヨリ甚シキハナシ夫此ノ如キ
ハ政府財政ノ措置其宜キヲ得サリシノ致ス所カ曰
ク決シテ然ラズ顧レハ維新ノ初メニ方リ各藩其封
内ニ發行スル所ノ紙幣其數幾許ナルヲ知ラス之ヲ
交換スルモ猶數種ノ紙幣アリ現今通用ノ紙幣ヲ發
行スルニ至リテ初テ一種ニ歸ス而シテ維新ノ大業
ニ係ル諸費廢藩置縣ニ付處分セシ諸藩債等此間要

開
石
史

大
限
正
一
十
一
年
四
月
贈



スル所ノ費用實ニ夥多ナリト謂フヘシ爾來頻年國
家多事西南ノ役台湾ノ外征或ハ地租改正等ノ如キ
其費用亦舉テ數フヘカラサルノ時ニ際シ尚ホ能ク
之ヲ維持シテ今ニ至レリ財政ノ措置其宜ヲ得スシ
テ豈ニ能ク如此ナルヲ得ンヤ然リ而シテ今日此
如キノ困難ヲ來タセシ所以ノモノハ其原因素ヨリ
一ナラスト雖モ輸出入ノ平均ヲ得サル其一ニ居ル
ト云ハサルヘカラス而シテ其不平均ヲ來タス所以
ノモノハ他ナシ外交通商ノ事起リシヨリ國是頓ニ
一変シ我邦固有ノ產出物ヲ以テ我需亦ニ充ルニ足
ラス常ニ彼ノ輸入ヲ仰クノ夥多ナルニ基スルモノ
ナリ故ニ財政ノ困厄ヲ放フハ輸出入ノ平均ヲ得ル
ニ在リ輸出入ノ平均ヲ得セシメント欲セハ須ク物

產興隆ノ道ヲ講スヘシ論者或ハ云フ現今用度増加
スルニ際シ政府財政ノ困難ヲ放フハ租稅ヲ増シ又
ハ内債ヲ喫スニ在リト夫レ用度不足ニ困シム所以
ヲモハハ時勢ノ然ラシムル所以雖モ歲入多カラサ
ルモノハ地租改正ニ基クモノニシテ現時全額ノ額
ヲ以テ往時ノ現米貢納ニ比スレハ其減少スル頗ル
巨多ナリ是ヲ以テ農家益富饒ニ趨キ佗ノ小民窮迫
ノ勢ト大ニ相副シカラス何トナレハ從來農民貢租
重キカ爲ニ終歲勤苦スルモ尚ホ且餘財ナシ今ヤ租
額寬ニシテ米價亦騰昂セルカ爲ニ農家頗ル餘財ヲ
獲ルモノナルニ至レリ是ヲ以テ自ラ懶惰ニ趨キ其
地力ヲ盡サス國力隨テ衰耗ニ歸スルハ自然ノ勢ナ
レハ其租ヲ重クシテ庶民其負フ所均一ニスルノ

法ハ亦必ス別ニ措置スル要ナクニハアルヘカラス
然ル片ハ又自ラ歳入ヲ増シ用度ノ幾分モ足スヲ得
ヘシト雖尺内債ヲ興スカ如キハ大ニ然ラス此レ入
民ヨリ出テ、政府ニ入ルマテノモノナレハ世ノ融
通ヲ資クル等ノ效アル能ハス幣ニ效ナキノモナラ
ス恐ラクハ其害ナキヲ保ツ能ハサルナリ論者又或
ハ云フ凡ソ物多數ナレハ價格随テ低落スルハ自然
ノ理ナリ紙幣ノ如キモ亦然リト此説ヤ頗ル世人ノ
賛成ヲ得ル所トナラントス然レ尺貞陽ヲ以テ之ヲ
見レハ或ハ然ラサルモノ、如シ何トナレハ紙幣ノ
低落ハ即正貨ノ騰昂ニ依ルモノニシテ正貨ノ騰昂
ハ其欠乏ニ基セルモノナリ側聞ク通商ノ事起リシ
ヨリ頻年輸出入ノ不平均ニ依リ金銀貨ノ海外ニ出

テシモノ維新以降昨十二年マテノ間ニ於テ舊貨幣
ヲ保セテ七千万圓ノ多キニ至レリト試ニコレヲ十
二ヶ年ニ配當スレハ一ヶ年平均五百八十万圓餘ニ
當リ而シテ此間ニ於テ鑄造スル所ノ新貨ハ九千
万圓ニシテ現存スルモノハ五千万圓ニ過キスト然
ル片ハ鑄造ノ新貨ハ稍其半數ヲ輸出セシモノニテ
今日世上ニ殆ト其影ヲ掩滅セントスルニ至ルモノ
宣ニ偶然ナラシヤ夫レ此ノ如キ場合ニ際シ開港場
ノ如キ動モスレハ貿易上ヨリ一時多數正貨ヲ需ム
ヲ起シ各人々ヲ戒ムルニ急ナルヨリ自ラ其供亦ラ
給ス能ハス積年ノ不平均ニ因リ其窮マレ俄然正
貨ノ騰昂ヲ生シ終ニ全國一般ニ波及セシムルモノ
ニシテ今日ノ騰昂ハ實ニ開港場供亦ノ給ラザルニ

起レルモノナリ故ニ若シ此場合ニ際シ政府充分ノ
正貨ヲ有シ需ホ者ヲシテ速ニ其望ヲ充タシムルヲ
得ハ非常ノ騰昂ヲ見サルヤ必セリ況ンヤ常ニ其供
給ヲシテ需ホニ勝タシムルノ法ヲ計畫シ處置其宜
キヲ得權衡其當ヲ得ルニ於テラヤ嘗テ聞昔日米國
ニ於テ紙幣低落ノ極點ニ陥リシ時ニ方リ之ヲ挽回
セシカ為銳意斷截ニ從事シ終ニ其目的ヲ達シ前ニ
人民ノ為ニ損弁セラレタル紙幣ハ却テ正貨ニ超越
スルノ虞ヲ得テ流通意ノ如ク遂ニ今日國家ノ旺盛
ヲ極ムルニ至リシモノナリト夫或ハ然ラニ然レモ
初メ多數ノ紙幣ヲ發行セシヤ漫ニ之ヲ發行セシニ
アラス其之ヲ斷截セシモ亦漫ニ之ヲ斷截セシニ非
ス其發行ハ建國ノ大業南北ノ戰爭國費多端止ムヲ

得サルニ出タルモノニシテ其斷截ハ爾來汲々興業
殖産大方ニ從事シ國漸ク富ニ通貨自ラ欠乏ヲ告ク
ルノ急ナラサルニ至ルニ由ルナリ果シテ然ラハ今
日ノ旺盛ハ紙幣發行ノ美果ト云フモ亦可ナルヘシ
況ヤ我邦ノ如キ今ニ於テ早ク其原因ヲ推窺シコレ
ニ施スニ至當ノ方策ヲ以テセハ決シテ米國ノ如キ
低落ニ陥ルベカラサルニ於テオヤ論者或ハ又云フ
世上正貨ニ乏シキハ人民漸ク紙幣ヲ擴弁シテ正貨
ヲ貴重スルノ念ヲ生セシヨリ遇正貨ヲ得レバ之
管底ニ收メ再上事物ノ媒介タラシメス或ハ舊時ノ
貨幣タル屢交換ノ布告アリト雖モ未タ徒守ノ念
ヲ斷ツニ足ラサルノ致ス所ナリト夫或ハ然ラニ然
レモ其事タル到底我邦内ニ止リ海外ニ出ルニアラ

サレハ理財上源ヲ患ヒトナスニ足ラス況ヤ此弊ヲ
除クノ策モ亦甚タ難シトセス今我邦ノ通貨ハ紙幣
ノ一偏ニ止リタルモノニシテ三千五百万人ノ賴
テ以テ生活スル所ノモノハ壹億四千五百万圓餘ノ
紙幣ト見做サ、ルヲ得ス壹億四千五百万圓餘ノ紙
幣ヲ三千五百万ノ人口ニ配附スレハ每人四圓餘ノ
少數ナリ又四口一家トシテ之ヲ算スレハ一家僅ニ
拾六圓餘ニ過キス公債證書ノ如キ政府ノ財務上ヨ
リ視ルトキハ紙幣類似ノ性質ヲ帯ヒタルモノ、如
シト雖氏民間ニ在テハ直チニ紙幣同一ノ便ヲナス
ニアラサレハ之ヲ一ノ物品ト見做サ、ルヲ得サル
ヘシ故ニ動不動産ノ賣買ヨリ衣食住ノ諸費ニ至ル
マテ一家一歳ノ性命ト依頼スヘキ所ノモノハ拾六

圓餘ノ紙幣ニ過サルノ割合ニシテ豈ニ不足ヲ告ケ
サルノ理アラニヤ然ルニ政府曩ニ減債方法ノ設ア
リ十一十二ノ兩年ニ於テ既ニ九百万圓餘ヲ削減シ
本年モ亦若干ヲ支消セントスルノ舉アリト抑削減
ノ主義タル其數幾許ヲ以テ程度トナスヲ知ラスト
雖モ要スルニ現時ノ數ヲ多シトナシ勉メテ之ヲ減
殺スルニ外ナラサルヘシ果シテ然ラハ政府ニ在テ
ハ歳出入相償ハス財政ノ困厄ナルモノヲシテ益困
厄ニ趨カシメ民間ニ於テハ正貨欠乏ヲ告クルノ
ニ於テ又加フルニ紙幣欠乏ノ患ヲ以テス夫如此ナ
レハ幣ニ理財上効用ナキノミナラス益通貨ヲ減却
シ流通ヲ壅塞スヘシ夫レ流通ノ壅塞ハ民業萎靡ス
ルノ原ニシテ遊民ヲ生スルノ因タリ遊民多ケレハ

隨テ無頼ノ徒ヲ出タスハ又自然ノ勢ナリ此時ニ於
テ物産ヲ興シ國益ヲ謀ラント欲スルモ宣ニ能ク為
スコトヲ得ニヤ聞クガ如シ外人ノ各開港場ニ外品ヲ輸
入スルヤ我高賣外人ヨリ貨幣ヲ借リテ該品ヲ買ヒ
之ヲ内人ニ沽却シテ以テ其債ヲ償還スルモノ比
之アリト此事小ナリト雖モ亦以テ貨泉壅塞ノ甚シ
キ隨テ國損ニ歸スルヲ證スルニ足レリ今ノ時ニ及
ンテ斷然姑息ノ策ヲ止メ非常ノ英斷ヲ以テ非常ノ
策ヲ行フニ非カレハ生理ノ衰頽遂ニ底止スル所ヲ
知ラサルニ至ラントス是レニ由テ之ヲ觀レハ現時
紙幣ノ數ハ未タ以テ多シトスルニ足ラサルノミナ
ラス今日ヨリ以往正貨尚ホ減少ヲ加フルノ間ハ年
々相當ノ紙幣ヲ増發シテ之カ補闕ヲ為スモ理財上

又止ムヲ得サルモノト云フヘシ而シテ論者又云ヘルコト
リ現時人民所有公債證書ノ幾分ヲ官ニ於テ買上ケ之ニ
應スルノ紙幣ヲ増發シテ興業殖産ノ費ニ充ヘシ然
ル所ハ其效民業ヲ興シ融通ヲ資クルノミニ止ラス
政府ニ於テモ其利子ヲ拂ハサルヲ以テ其公債隨テ
自ラ減却スルナリト此議タルヤ大ニ方今ノ時宜ニ
適スルモノナレハ是又今ニ及ニテ之ヲ併セ行ハハ
其得策タルヤ疑ヲ容レサルナリ然リト雖モ現在ノ
紙幣ヲシテ永ク世上ニ通用セシムルハ決シテ望
所ニアラス速ニ此不換紙幣ヲ改メテ交換ノ年限ヲ
定メ目下ニ在テハ專ラ銅貨ヲ鑄造シテ民間需求ニ
足ラサルノ不便ヲ救ヒ其間勉メテ物産ヲ擴張ニ輸
出入ノ平均ヲ得正貨ヲ海外ニ得テ之カ準備ヲ為サ

ルヘカラス然ラサレハ恐ラクハ人民ノ信用ヲ失
フノ憂アラシク然リ而シテ今ノ政府ハ決シテ貧弱ナ
ルニ非ス其貧弱ナルヲ疑フ所以ノモノハ民間其財
カラ詳ニセサルニ依ルナリ故ニ政府民間ノ信用ヲ
得ント欲セハ宜シク其有スル所ノ鑛山官地鏡道電
線等ノ如キ苟モ財産ヲ以テ敷フヘキモノハ明瞭統
計シテ之ヲ人民ニ告知シ且常平局ニ於テハ常ニ充
分ノ米穀ヲ適宜ノ場所ニ貯藏シ糶糴其宜ヲ得テ米
價ヲシテ非常ノ騰貴ニ至ラサラシムヘシ蓋シ輸出
入ノ不平均ヲ救フハ現時ノ急務タル政府ニ於テ疾
ク著目シ諸官衙ニ令スルニ勤儉ヲ以テスル等其事一ナラス夫レ
勤儉ハ奢侈ヲ禁シ冗費ヲ汰シ濫用ヲ節スルノ主腦ニシテ今日ニ
於テ之ヲ斷行セズハハルヘカラス然リ而シテ殖産興利ノ事ハ國家ヲシテ

益富有ナラシメントスルモノニシテ黽勉從事セサ
ルヘカラスヤ言ヲ俟タスト雖モ若シ之ヲ誤解シ
事ノ緩急ヲ問ハス一ニ歲出ノ節減ノミニ著目シ目
下起スヘキノ物産アルモ拱手坐視スルカ如キアラ
ハ國家ノ財力益退縮シ終ニ物産興隆ノ期ナク何レ
ノ日カ海外各國ト並立スルヲ得ンヤ今北海道ノ一
部ニ於テモ殖産興利ノ事アル一ニシテ足ラス幸ヒ
ニ相當ノ財本ヲ以テ銳意之ニ從事セハ五年ヲ出ラ
スシテ年々五百万圓以上ノ正貨ヲ海外ニ得ルハ幾
ラ容レヤハ所ナリ此レ方今ノ急務ハ物産ヲ興隆シ
テ輸出ノ平均ヲ維持スルニ在ル所以ナリ而シテ
又我商賣ヲシテ遠ク海外ニ航シテ高利ヲ得有スル
コト猶今日外人ノ我邦ニ於ルカ如クナラシムルニ

リ然リト雖モ此ノ如キハ尋常手段ノ能ク為シ得ヘ
キ所ニアラス之ヲ為スノ法ハ非常ノ果斷ヲ以テ外
債ヲ起スニアリ抑モ外債ノコトハ國家ノ大事ニシ
テ財政上力不得止ニアラサルヨリハ輕ク之ヲ起ス
ヘカラスト雖モ將來之ヲ以テ國家ノ衰頹ヲ挽回シ
大害ヲ防キ利益ヲ起スヘキノ目途確立セルニ於テ
ハ姑息ノ策ヲ施シ坐シテ放フヘカラサルヲ待ニ比
スレハ其得策タルヤ必セリ然ルキハ外債ヲ起スノ
事目下速ニ施行セスンハアルヘカラスト果シラザラ
施行スルニ及ニテハ其額甚々多キヲ要セス而シテ
此ノ外債使用ノ法タル一切他事ニ消費セス人民中
富有ニシテ且志アル者ヲ撰ミ勸誘保護シテ以テ海
外ニ商業ヲ營マシムル方今外邦ノ我國ニ於ケルカ

如クナラシメ官ニ於テモ亦直接貿易ノ業ニ從事シ
大ニ我商事ヲ擴張シ彼我貿易上ノ權衡ヲ維持スヘ
シ而シテ其商事ヲ海外ニ擴張スルヤ其船舶モ亦我
邦人所有ノモノヲ用弁テ以テ航海ノ權ヲ張ラスン
ハアルヘカラスト之ヲ張ルノ方ハ三菱會社ニ加フル
ニ充分ノ保護ヲ以テシ其資ヲ給シ其船舶ノ數ヲ増
ス等ニアリ且内國ニ於テハ純然タル官立正金銀行
ヲ設立シ海外ノ為換ハ勿論彼ノ正貨騰昂ノ原因ヲ
ル開港場ニ於テ需用給ラス之カ為ニ騰貴ヲ來タサ
ントスルノ時ニ際シ之ヲ防遏スルノ方策ヲ施サス
ンハアルヘカラスト現今既ニ設立セル所ノ國立銀行
ノ如キ其方法堅固ナラサルニアラスト雖モ人民未
ダ以テ充分ノ信用ヲ置カサルモノモ亦少シトセス

此レ前ニ陳ル所ノ守銭家ヲシテ正貨ヲ筐底ニ收メ
シムルノ一原因ナリ故ニ官立正金銀行ニ於テ人民
貯蓄ノ正貨ヲ預クルモノニハ相當ノ利子ヲ附與シ
其下戻ヲ乞フニ方テハ豫メ幾日ノ前ニ於テスレハ
初メ預クル所ノ正貨ヲ以テ下戻ス等ノ方法ヲ立テ
コレヲ施行シ專ラ人民ノ信用ヲ得又舊貨徒守ノ
妄念ヲ斷ニカ為ゾニハ何ヶ月満期ノ後變形セサル
古金銀ヲ所持スルモノ發露スル丁アレハ嚴ニ其罰
ニ處スル等ノ處分ヲ以テシ舊貨ヲシテ永ク後世ニ
保存セシムヘキハ彼ノ博物館ノ如キハ勿論或ハ官
有共有等ノ保存セシムヘキ場所而已ニ於テスルモ
ノトセハ必ヤ空ク正貨ヲ貯藏スルノ弊ヲ除クヘシ
コレ此弊ヲ除クノ策モ亦甚ク難カラス云フ所以

ナリ之ニ加フルニ從來輸出入物品ノ價格洋銀ヲ以
テ取引セシ舊慣モ條約改正ノ機ニ際シテ一切貿易
銀ニテ其價ヲ定メ海關稅モ總テ貿易銀ヲ以テ納付
セシムルノ法ニ改メラレ外ハ以テ輸出入ノ平均ヲ
助ケ内ハ以テ紙幣低下ノ患害ヲ防キ彼此相維持シ
内外相匡放スルノ方ヲ謀ラハ輸出入相償ハサルノ
害ヲ去リ正貨欠乏ノ患ヲ除キ貨財流通ノ途ヲ開ク
ヤ年ヲ期シテ待ヘキナリ彼ノ紙幣斷截方法ノ如キ
ハ姑ク交換ノ年限ヲ定メ國內正貨ニ富ミ政府資財
ニ餘裕アリ民間通貨缺乏ヲ告ケサルノ日ヲ待テ之
ヲナスモ亦晚シトセス仰キ願フハ閣下非常ノ英斷
ヲ以テ速ニ外債ヲ起シ前ニ陳ル所ノ困厄ヲ排除シ
國家富有ノ基礎ヲ鞏固ナラシメントテ眞陽誠無

開
封
傳
識ト雖氏國家ノ為ノニ之ヲ憂フルト深シ因テ僭越
ヲ顧ミス聊管見ヲ開陳ス誠恐頓首
明治十三年七月四日開拓使三等出仕西村貞陽

左大臣熾仁親王

殿下

各通

右大臣岩倉公

殿下